

デジタル庁 国民向けサービスグループ 御中

G ビズ ID の民間サービスでの活用事例

実証的な接続実験 報告書

2026年3月31日

スマイルワークス株式会社

(1)G ビズ ID と連携するサービスの概要

●サービス名称： クラウド ERP システム「スマイルワークス」

●サービス内容：

- ・企業のバックオフィスの電子化・自動化（DX化）を実現します。
- ・販売管理・仕入管理・在庫管理・経費精算・勤怠・給与計算・財務会計などバックオフィス業務全体をクラウドで統合管理することで経営可視化を実現した上で全体最適化します。
- ・Web 申込した当日から利用可能で翌月末まで無料です。メガバンクや地銀、信金など銀行にホワイトレーベル/OEM 提供していることから、FISC 基準金融機関準拠のセキュリティレベルで運用管理されています。（ISMS/P マーク/AUP 監査/SOC 対応）
- ・小さな事業者でも、まずは売上/請求管理など一部機能から小さく始めて、必要な機能を必要な時にいつでもボタン一つでリアルタイムにオプション機能をメニュー追加できる「ステップアップ ERP」というコンセプトで推進しています。

ダッシュボード画面



●既存、新規の別

- ・「SmileWorks」自体は既存のサービスです。
- ・現在、新たに銀行経由での債権の早期資金化サービスを開発中で、そのサービスに今回の「G ビズ ID 連携機能」を追加したいと考えています。



●その他

- ・G ビズ ID 連携に期待すること、および課題

① 「SmileWorks」の法人アカウント開設時の「G ビズ ID」認証補完

既存の認証方式に加え「G ビズ ID」による法人認証を追加し、債権者／債務者として取引当事者確認の一助とする考えです。

② 「SmileWorks」ユーザの「取引先認証」に「G ビズ ID」を利用

債権の早期資金化などのファイナンスサービスに於いて電子請求書の“受領する取引相手”の「受領者」認証に「G ビズ ID」を利用します。これにより電子請求書を発行した「債権者」たる「SmileWorks」の法人確認（上記①）とその取引相手である「債務者」の法人確認を行うことができ、電子取引における相手認証が実現できます。

③ 「SmileWorks」の電子取引の無償招待版のアカウント認証

2025 年 7 月に「SmileWorks」ユーザの取引先に対して「電子取引用の無償招待版」の発行時の取引先のアカウント認証に活用させて頂くことで、取引相手のアカウントの真贋性の確認に加えて、債権流動化の際の第三者対抗要件に活用可能になります。

「SmileWorks無料招待版」概要

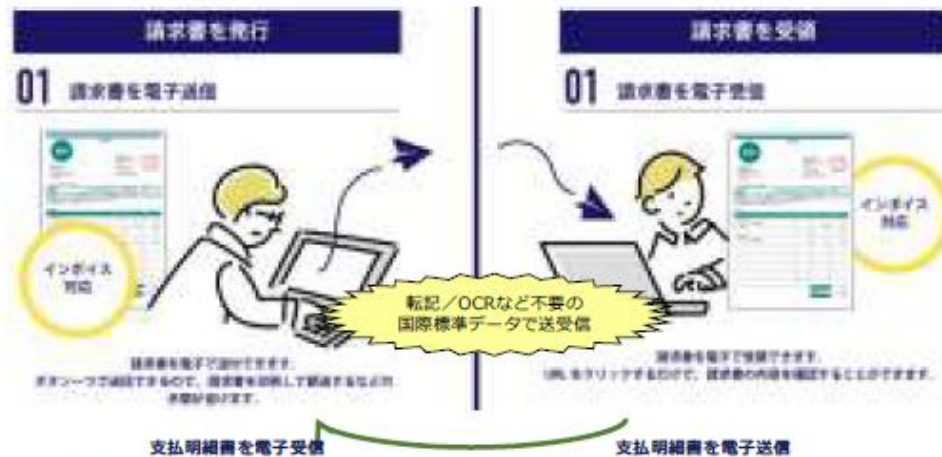


「SmileWorks」ユーザ企業の「取引先」に対して発行できる無料アカウント

- SmileWorksユーザ企業は「得意先」及び「仕入先」を無料で無制限に招待可能！
- SmileWorksユーザ企業と各取引先は「共通EDIフォーマット」で電子取引が可能に！
 - PDFデータと共に“自動インポート可能なデータ（国際標準XML）”で送受信可能に！
 - 「売上登録」「売上自動集計」「電子請求書（インボイス）発行」「電子支払明細受領」機能
 - 「仕入登録」「仕入自動集計」「電子支払明細書発行」「電子請求書受領」機能

※受領したPDFから手作業で転記したりOCRをかける必要なしで正確に自動コピー可能！

※「無料招待版」からフル機能を利用したい場合は月額5,000円～販売ERPに自動切換え可能！



Confidential: SmileWorks, Inc. All right reserved.

※上記①②③を通じた課題としては「G ビズ ID 連携」が有償となった場合、ビジネスモデルに影響が出るため決済方法を含め商用稼働においては検討事項が増えることになる。

④G ビズ ID への最新情報のフィードバック

企業活動においては「SmileWorks」上で常に取引の最新情報が更新されているため、事前にユーザの許諾を得ることで当該法人の名称/住所/代表者など基本情報の更新や取引相手の情報やどんな取引をどんな頻度でどのような条件で行っているか等トランザクションデータをG ビズ ID と連動した形でフィードバックも可能と思われます。また「SmileWorks」では債権債務情報と同時に入出金情報なども管理するため、取引条件が正常に行われたか、遅延したか等のデータも連動可能となります。

「※全てユーザの事前の許諾が前提となります。」

現在、上記「債権の早期資金化サービス」はメガバンク、地銀、信金、信用保証協会などと実証事業を通じて商用稼働を目指して検討中であり、その実証事業の中で本件「G ビズ ID 連携」機能を検証できることを期待しています。

(2) 進捗状況に関する実績工程表

非公開にてお願いします。

(3) 運用実績書

非公開にてお願いします。

(4) 費用実績

非公開にてお願いします。

以上